



EUROPEAN BUSINESS COUNCIL IN JAPAN
THE EUROPEAN (EU) CHAMBER OF COMMERCE IN JAPAN

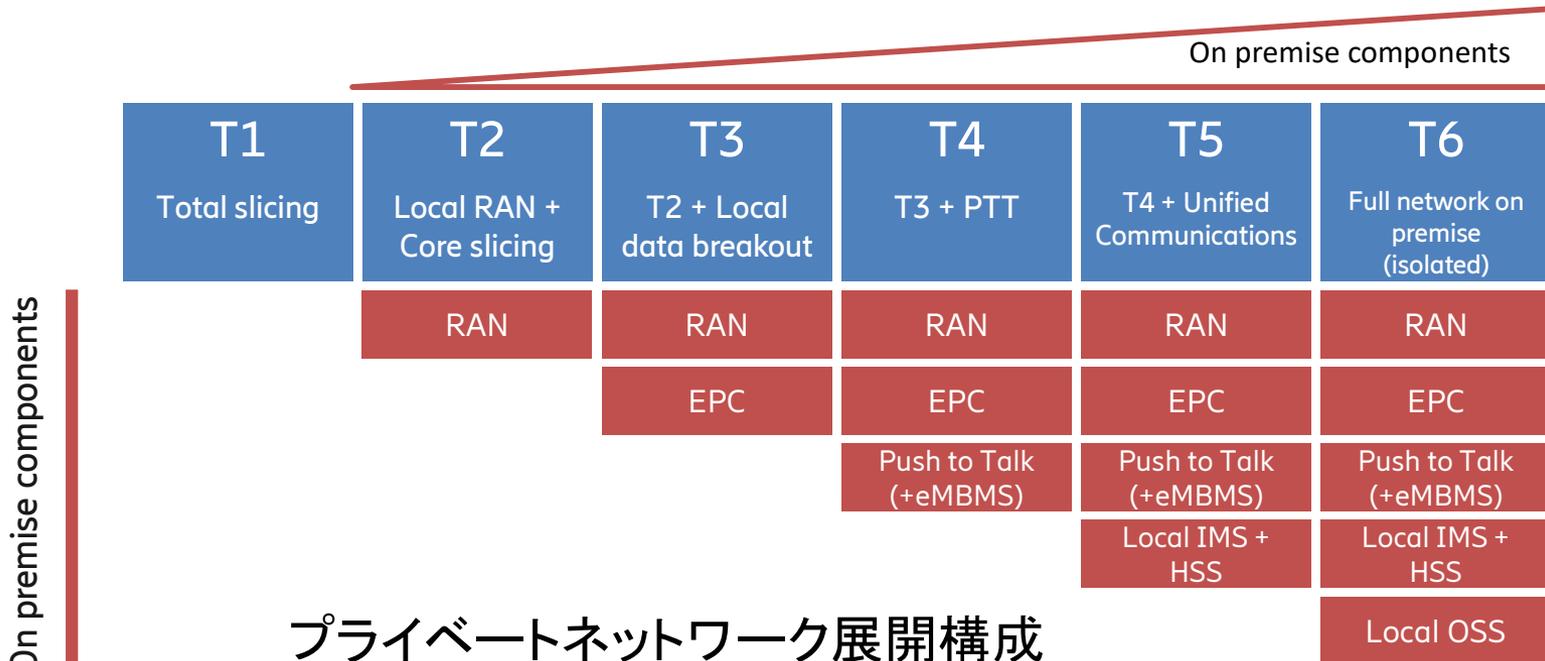
ローカル5G検討作業班 論点整理(案)への意見

2019年2月1日

欧州ビジネス協会
電気通信機器委員会

ローカル5Gの導入目的・役割

- 携帯電話事業者のローカル5G参入に関して
 - 方向性（案）に賛成いたします。なお、ローカル5Gと携帯電話事業者のネットワークとの関係には、ローミング、コアネットワークの共用などを含む様々な形態が想定されるので、その整理を行うことが必要と考えます。



28.2GHz～28.3GHzのローカル5G制度化(1)

- 割当方法・割当単位の整理（案）

- まずは、「自己の建物内（屋内）」又は「自己の土地の敷地内（土地の敷地内）」で、当該所有者に免許する方針に賛成いたします。この方法は、土地の所有を基本としており、割当が効率的となるメリットがあると考えます。
- なお、「道路等の公共スペースや他者の土地を含む開放空間など」での割当方法では、免許を与える優先付け、干渉軽減策等の干渉管理が非常に重要であり、検討がさらに必要な事項です。

- 技術的条件（案）

- 情報通信審議会答申（2018年7月）は3GPP技術仕様をベースとしていることから、それを踏襲することに賛成いたします。
- 地域的に隣接している他のローカル5Gシステムまたは公衆5Gシステムとの干渉を考慮した場合は、建物外（外壁部等）での漏えい電力値を制限して干渉管理を行うことが、システム展開の自由度を図る上で望ましいと考えます。

28.2GHz～28.3GHzのローカル5G制度化(2)

- 共用（干渉）検討
 - ローカル5Gのユースケースは多様であるため、干渉を避けながら携帯電話事業者等との上下送信タイミングを非同期も可能とする方策を模索すべきと考えます。検討方法としては、建物侵入損を想定した干渉検討などが考えられます。
- 電波の有効利用確保に向けた検討
 - 考え方（案）に賛成します。なお、利用方法の見直し等には、携帯電話事業者等への割当が考えられます。

地域BWA帯域への自営BWA利用の導入

- 割当方法及び割当単位

- サービス範囲を、「自己の土地若しくは建物の範囲内」又は「土地若しくは建物の所有者の委任等を得ている範囲内」とすることに賛成いたします。この方法は、土地の所有を基本としており、割当が効率的となるメリットがあると考えます。



EUROPEAN BUSINESS COUNCIL IN JAPAN
THE EUROPEAN (EU) CHAMBER OF COMMERCE IN JAPAN

THANK YOU VERY MUCH

2019年2月1日

欧州ビジネス協会
電気通信機器委員会